

1 月生徒朝礼

令和4年1月17日（月）

それでは、校長先生から皆さんに少し話をします。

本日は1月17日ですが、皆さんは何の日か知っていますか。ニュース等で最近取り上げられているので、知っている人がいるかもしれませんが、本日は阪神・淡路大震災が起こった日です。

27年前の今日、兵庫県あたりが中心地となる地震が発生し、大きな被害をもたらしました。これ以後にも大きな地震は東日本であったり熊本であったりといくつか起きていますが、校長先生は27年前のこの震災を今でも鮮明に覚えています。

発生した時刻は朝の5時45分ぐらいでした。校長先生はまだ寝ていたのですが、あまりに大きな揺れで妻と一緒にいて非常に怖い思いをしました。その後、テレビを見るたびに、地震直後には分からなかったことが明らかになってきました。死傷者の数がどんどん増えていく様子、家という家が壊れている様子、またびっくりしたのは、コンクリートで固められ頑丈そうな高速道路の高架（橋げた）が傾き、壊れている映像でした。こんなに大きい地震だったのでこちらの東海地方でも大きく揺れたのだということを実感しました。

この後、兵庫県を中心とした関西地方では、「がんばろう神戸」の合言葉のもと、復旧・復興にがんばり元の姿を少しずつ取り戻していきました。東北地方や熊本でも現在復興に向けてその地元はもちろんのこと、日本全体で復興に向けて取り組んでいます。

校長先生は地震や津波などの災害で直接大きな被害を受けたことはなく、ニュースなどで他の地域が大変であることを知るばかりですが、1月17日を迎えるたびに災害の恐ろしさと、もし災害が起こったときの行動について、常日頃から家族や職場の仲間たちと打ち合わせをしていく大切さを確かめる機会となっています。

おりしも先週の金曜日までのところで、それぞれの学級では担任の先生から次回の避難訓練について予告をされたと思います。今度の避難訓練は日時についても災害の種類についても皆さんや先生たちにも知らせず行う予定です。その目的は、実際の災害は突然襲ってくるのでその場面を想定して、ふだんの生活をしながらもいざというときにいかに迅速に行動できるかを確かめるためです。

もし、避難の指示が放送で流れたら、今までの学習からどんな動きをすればよいかを判断し、迅速に行動することを心がけてください。東北の大震災後には、よく「自分の命は自分で守る」ことが言われてきました。

今度の避難訓練においても自分の命を守るための学習であることを念頭に取り組んでくれることを願って校長先生の話を終わります。